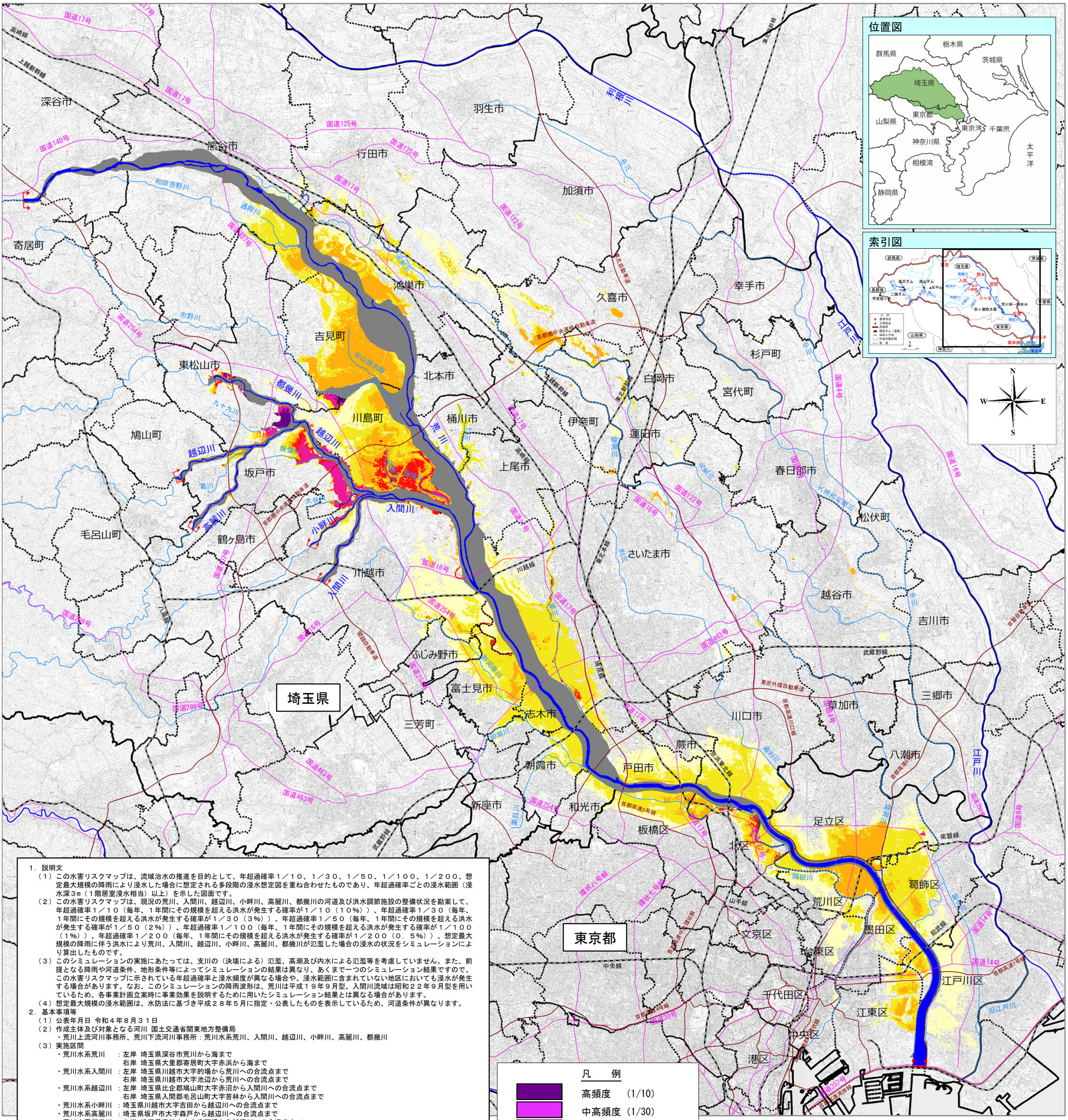
荒川水系荒川及び入間川流域
国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)【現況河道】



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／２００、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３m（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の荒川、入間川、越辺川、小畔川、高麗川、都幾川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））、年超過確率１／２００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／２００（０．５%））、想定最大規模の降雨に伴う洪水により荒川、入間川、越辺川、小畔川、高麗川、都幾川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションの降雨波形は、荒川は平成１９年９月型、入間川流域は昭和２２年９月型を用いているため、各事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年５月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日 令和４年８月３１日

（2）作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局
・荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所：荒川水系荒川、入間川、越辺川、小畔川、高麗川、都幾川

（3）実施区間
・荒川水系荒川　：左岸 埼玉県深谷市荒川から海まで
　右岸 埼玉県大里郡寄居町大字赤浜から海まで
・荒川水系入間川：左岸 埼玉県川越市大字的場から荒川への合流点まで
　右岸 埼玉県川越市大字池辺から荒川への合流点まで
・荒川水系越辺川：左岸 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼から入間川への合流点まで
　右岸 埼玉県入間郡毛呂山町大字苦林から入間川への合流点まで
・荒川水系小畔川：埼玉県川越市大字吉田から越辺川への合流点まで
・荒川水系高麗川：埼玉県坂戸市大字森戸から越辺川への合流点まで
・荒川水系都幾川：左岸 埼玉県東松山市大字石橋から越辺川への合流点まで
　右岸 埼玉県東松山市大字下唐子から越辺川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（荒川流域の３日間総雨量２９９mm、入間川流域の３日間総雨量３００mm）
・年超過確率１／３０（荒川流域の３日間総雨量３８０mm、入間川流域の３日間総雨量３７８mm）
・年超過確率１／５０（荒川流域の３日間総雨量４１７mm、入間川流域の３日間総雨量４１４mm）
・年超過確率１／１００（荒川流域の３日間総雨量４６７mm、入間川流域の３日間総雨量４６２mm）
・年超過確率１／２００（荒川流域の３日間総雨量５１６mm、入間川流域の３日間総雨量５１１mm）
・想定最大規模（荒川流域の３日間総雨量６３２mm、入間川流域の３日間総雨量７４０mm）

（5）河道条件：現況

（6）関係市区町
＜埼玉県＞さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、加須市、東松山市、春日部市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、川島町、吉見町、鳩山町、寄居町、宮代町、杉戸町、松伏町
＜東京都＞千代田区、中央区、港区、台東区、墨田区、江東区、文京区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

※測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R4 JHF 135
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。